

減災 NEWS

近畿大学奈良病院DMAT災害対策委員会

文責：橋本賀幸・加藤宏樹

vol. 20

2025. 5. 28

みなさん、こんにちは。令和6年3月に三重県で開催された三重大学病院メディカルラリーに、生駒消防の救急救命士とともに、近畿大学奈良病院から医師2名、看護師2名が参加しました。

メディカルラリーとは、医師・看護師・救急救命士で構成されたチームが、救急医療の技術を競う大会です。各チームは指定されたシナリオで模擬傷病者の診察や処置を行い、評価者がその的確さや職種間の連携を採点します。チームは複数のシナリオを巡り、最終的な総合得点で順位を競います。



前回のDMAT研修に引き続き、今回も山根先生がリーダー医師として、陣頭指揮を執りました。



生駒市消防の救急救命士4名と合同でチームを結成し、大会に参加しました。当院は初めてのメディカルラリー挑戦であり、試行錯誤を重ねながらの参加となりました。救急救命士と事前に何度も練習を重ね、万全の準備で大会に臨みました。今回のラリーでは7つのシナリオが用意され、被災地の病院支援、救急外来での傷病者対応、工事現場からの傷病者救出など、多岐にわたるケースに挑みました。結果は20チーム中9位と健闘しましたが、惜しくも上位入賞には届きませんでした。しかし、多数傷病者のシナリオでは、20チーム中唯一、心肺停止患者全員の蘇生に成功。これは、チームワークと的確な判断の成果であり、大きな自信につながりました。



IMT (生駒メディカルラリーチーム)
医師：小谷・山根
看護師：加藤・橋本
生駒消防：名倉・田中・水谷・渡部

当院は、災害拠点病院として、消防と連携し、さまざまな訓練を通じて災害対策に取り組んでいます。災害はいつ、どこで発生するかわかりません。しかし、いざという時に迷うことなく動けるかどうかは、日頃の備えと訓練にかかっています。だからこそ、私たちは日々技術を磨き、経験を積み重ねることで、迅速かつ的確に対応できる体制を整えています。平時はもちろん、災害発生時にも、市民の皆さまの安心と安全を守ることが私たちの使命です。今後も、市民の皆さまの命と健康を守るため、研鑽を重ね、より強固な医療体制の構築を目指してまいります。

ご意見やご感想、ご質問等ございましたら、【患者さまの声】にお願いします。
(患者さまの声は、2階正面玄関前カウンター、再診受付機脇、各デイルームに設置しています。)